社会福祉法人 種の会　アルテ子どもと木幼保園
〒164-0001　中野区中野 1-59-5
Tel　03-3365-0602
ホームページ URL http://www.tanenokai.jp/

1

2022.

えんだより

ArteKodomotoKi

お知らせ

- 年間行事予定でお知らせしています通り、25日～26日に保護者会を開催する予定です
  - 乳児クラスは13時30分～14時30分
  - 幼児クラスは15時00分～16時00分

  対面での保護者会を予定しておりますが、感染状況により実施方法を変更する場合があります。詳細は後日お知らせ致します。

- お迎え後のお子様から目を離さないようお願い致します。門前は歩行者や自転車との接触事故が起こる可能性があります。玄関の解除スイッチや扉の開け閉めは必ず保護者が行って下さい。また、園内を走り回ることは、他のお子さんの怪我にも繋がります。受け渡し後は、すみやかな降園のご協力をお願い致します。

- 駐輪場でのおしゃべりは近隣住民のご迷惑となりますのでおやめください。

January　1　2022

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1 元旦
2	3	4	5	6 運動あそび 0歳児健診	7 新年子ども会	8
9	10 成人の日	11	12 音楽あそび 発育測定	13 運動あそび 0歳児健診	14	15
16	17	18	19 音楽あそび	20 運動あそび	21	22
23	24	25 0・3歳児 保護者懇談会	26 1・4歳児 保護者懇談会 音楽あそび	27 2・5歳児 保護者懇談会 運動あそび	28 誕生会 避難訓練	29
30	31					

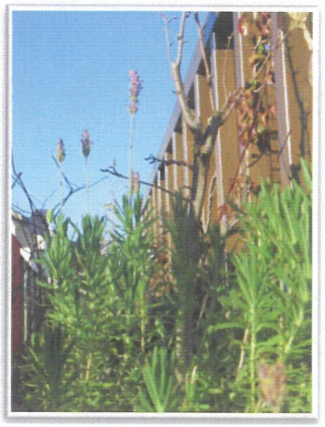
※音楽あそびのひとみ先生が産休に入るため、3月末まで石塚みずき先生が担当します。
（音楽あそびは火曜日から水曜日に変更になります。）

新年 明けましておめでとうございます

園長　山田寿江

2022 年は、どんな年にしたいですか？
アルテ子どもと木幼保園も 1 年が過ぎ、また大きく育とうとしています。保育は、社会の縮図でもあり、時代を反映しながら未来へ向けて人が育ちあう学びの場でもあります。建築の点検で、自然木は乾燥による収縮など生き続けていることを感じさせてくれました。
保育も建物も生きものみたいなもので、人の関わり方で変化の仕方も違ってきます。３年後、５年後、8 年後の 2030 年にはどうなっていたいのか……　年の始めに、ちょっとだけ未来を想像してみるのもいいかもしれません。今年やりたいことが見えてくるかもしれませんね。

「葉っぱ取っちゃっていいんですか？」



アート展のワークショップの時、そう尋ねた方がいました。植物を大切に想う気持ちが伝わる問いかけでした。屋上園庭の植栽は、日々姿を変えて四季折々の自然を楽しませてくれます。ブドウやレモン、ビワなど実のなる木も多いのですが、可憐な花を咲かせる植物が多いのも特徴です。子ども達が自然に触れ探究や探索のできる園庭にしたいと要望したところ、ベテラン庭師さんが、次々と花が咲いて気軽に摘めるようにと考えて選び植えて下さった植栽です。もちろん、普段子ども達は草花を大切に扱っていますから、ワークショップの時は特別感があったようです。

この時期、寒さに強いラベンダーが、ほのかな香りを漂わせて薄紫色の花を咲かせています。毎朝、少しだけ摘んでエントランスに飾っているのですが、ある朝、**「そんなにたくさん取って大丈夫？」**と５歳の女の子に声を掛けられました。花への想いに感心しつつ「みんなにもお花を見せてあげようと思って……」と言い訳し、次からはもう少し控えめに摘もうと思いました。

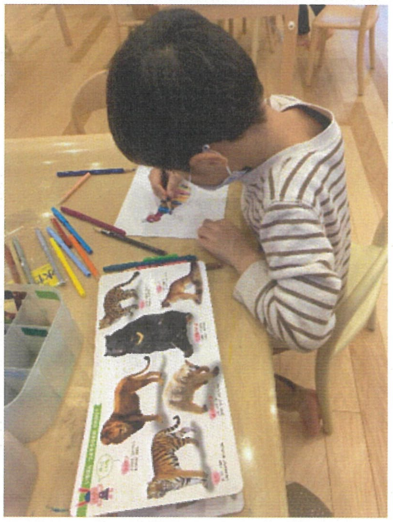
「陸の豊かさも守ろう」

SDGｓ（持続可能な開発目標）の 15 は、陸の生きものや森林を守っていくことを目標としています。人は、自然の中でたくさんの生きものと関わって暮らしています。これからの時代、世界をとりまく環境はますます厳しくなっていくでしょう。子ども時代に自然と仲良くなって欲しいと願っています。

「今日の空は何色かな？」

登園の朝、2 階へ上がる階段で、お父さんが娘に問いかけていました。窓の向こうを見上げて「白…やっぱり水色！」「きれいな青空だね」その会話は、“今日がいい日でありますように”と願う一日の始まりのようで、ステキな場面に立ち会えた偶然を嬉しく思いました。どんな天気でも、心は晴れですね！

表紙の絵は、干支のトラを４歳ナノ組のＡくんとＢくんが描いたものです。Ｂくんが動物の絵本をたくさん集めてきて、トラの絵を描こうとしているのを見て、Ａくんも「ぼくもやりたい！」と参加しました。「ぼくは虹色のシマシマのトラを描くんだ！」とＡくん。なんて面白い発想力でしょう。その言葉を聞いた時に思い出したことがありました。知り合いの娘さんが保育園でサツマイモを虹色で描いたら、先生に紫色だけで描きなさいと言われたとのことでした。娘さんはガッカリして帰ってきたらしいのです。虹色のサツマイモも虹色のトラもその子がその瞬間に頭の中でイメージして描きたいと思ったものです。子どもが表現したいものを自由に表現できる環境でありたいと願います。



【声掛けって難しいな】

Ａくんはトラを虹色に塗ると宣言したものの、途中で時間のかかる大変な作業だと感じたようです。そこで、右手と左手の両方に違う色のペンを持って描くことにしました。利き手じゃない方のペンを何度も持ち替えていました。おそらく、片手で描いた方が早いくらいでした。そして、足３本はそのまま塗らずに次の動物を描こうとして絵本のページをめくりました。私は「足３本がまだ塗れてないけれどいいの？」と尋ねました。「いいんだよ、足３本はシマウマの足にしたんだ」と答えました。「えっ？面白い！虎なのに足３本はシマウマなんだね！すごいね！」と褒めました。

Ｂくんが「待ってよ、ぼくまだトラを描いているから次のページにしないでよ」というので、Ｂくんが描いている間に、私はＡくんのトラの絵をスキャンさせてもらうことにしました。それが表紙のトラ（手前）です。

クラスに戻ると、Ａくんが待っていて、すぐに次の動物を描き始めました。Ｂくんは４本足全てを虹色で描いていました。しばらくして、２人の絵を見にいくと、Ａくんのシマウマの３本の足は黒色のペンで殴り書きのように消され見えない状態になっていました。私はハッとしました。シマウマの足を褒めたことでＡくんが喜んでくれているとばかり思っていました。Ｂくんが４本足を全て虹色に塗ったものを見て、Ａくんは何かを思い、足が見えないように消したのだと思いました。私がシマウマの足について触れなかったら、足３本を塗らなかったことを気にすることもなかったかもしれません。子どもは自分が褒めて欲しい時に褒められることが自信に繋がります。でもそうではないときに褒められると納得できないこともあるのです。子どもへの声掛けは奥が深いなと感じたエピソードです。

主任　黒木

※今月は“食”をテーマに各クラスの様子をお知らせしています。

A to 0

ごはんまだかな？

友達と遊んだり、玩具で遊んだり、遊ぶことが大好きな0歳アト組の子ども達。でも何よりの楽しみはやっぱりごはん！保育者が準備を始めると、それに気が付いた子が次々に集まってきて、首を伸ばして覗き始めます。「あーあー」と大きな声を出してアピールする子も……。“せんせい、まだ？”“早く食べたい！”と言っているかのようで表情も真剣です。

スプーンでパクッ！

少し前は、手づかみ食べで夢中で食べたり、逆に食べさせてもらいたくて待っていたり……と“スプーン食べはもうちょっと先かな”と思っていましたが食材をスプーンにのせてお皿に置くと自分から持つようになり、今では子ども達みんながスプーンを使って食べられるようになってきました。“ぎゅっ”としっかり握ってすくい、口へ運んで“パクッ”。誇らしげな表情を浮かべる子も……。食べこぼしも減って、すっかりお兄さん、お姉さんです。

エプロン、タオルは自分でしまうよ！

“ごちそうさまでした”挨拶をすると椅子を引いて立ち上がり、エプロンとタオルをしっかり持って、自分のロッカーに向かって歩いて行くＡちゃん。“ここにしまうんだよ”と指差ししています。“せんせい、ふくろあけて”と汚れ物袋を広げるように訴え、両手でそおーっとしまい、保育者の顔を見てニコッ！“できた！！”と言っているかのよう……。満足そうな可愛い笑顔を見せてくれました。

Ato 1

同じにしますか？ 少なめにしますか？

10月中旬から昼食の主食とおやつを子ども達の前で配膳しています。

大きな容器にご飯やおやつがたくさん入っているので、目の前に置くと「うわ～　いい匂い」「今日は何？」などとのぞき込んだり容器に触れたりしています。見たり匂いを嗅いだりする事で、食べたい、食べてみたいという気持ちになります。又、「これ嫌い」「嫌だ」と言って苦手な物に気付くようになってきます。

定量と半量の見本を作り「同じにしますか？」「少なめにしますか？」と子ども達に聞いています。「こっち」「こっち」と両方指をさす事もあります。聞かれた事に対して、自分の思いを伝えるこのやり取りが大切です。今後は汁の配膳も行っていく予定です。自分で選んだ物は良く食べるようになり、残す事がほとんどなくなりました。苦手な物は少しにして、楽しく食べるという事を大切にしていきます。

みてみて！　自分で食べられるよ

食具を使って自分で食べる事が増えてきました。お肉をスプーンですくおうとするも転がって食べられず、向きを変えるなど何度もすくってみようとしていました。「フォークでさしてみたらどうかな？」と声を掛けられると、持ち替えて食べる事が出来ました。まずは自分でやってみようとする気持ちが大切です。出来ない時どうすればいいか考え、こうしたらどうかな……とやってみます。

歯でしっかり噛みちぎって食べられるように果物やお肉、お魚など少し大きめにカットされています。最初は見た目で大きいと食べず小さくすると食べている子ども達も多かったです。毎日食べていく事と、友達が一緒という事で、真似して食べていく中で食べられるようになってきました。

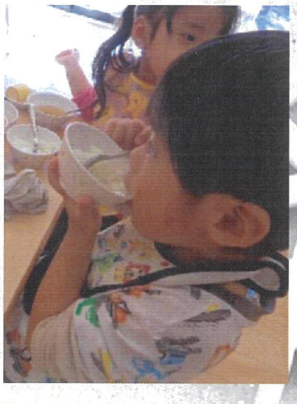
お皿を持って食べたり、手を添えて動かないようにしたりと、食事のマナーも少しずつ身に着いてきました。

「きのこ入っている」「ニンジンさんだ」などと、絵本や手遊びに出てくる食材が入っていると、友達と見せ合いながら食べています。

Pico2

～食べるって楽しい～

子ども達は毎日、テーブルを拭いたり椅子を並べたり、食事の準備をする保育者の姿を見ているます。こちらが声を掛けなくても、自らお手伝いをしてくれるようになり「やりたい！」と言う姿が増えてきました。保育士の動きをよく見て覚えているのだな～と改めて気づかされました。
食べる前には見本を見せて「同じにしますか？」「少なくしますか？」と言う声がけをしています。自分で“全部食べたい”“このおかずは苦手だから少なくする”など、考えて選ぶという選択の積み重ねが自分で決めて行動する自立心にも繋がっています。



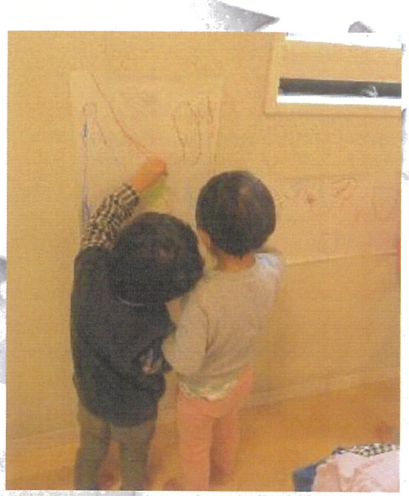
食事が始まると、最近ではスプーンやフォークの持ち方の話になる事がちらほら……親指と人差し指を広げて、「こうやって持つんだよね？」と見せてくれます。そんな話題が始まると、今度は友だちの持ち方に意識が向いて「あっ！〇〇ちゃん持ち方が違う」や「〇〇くん、赤ちゃんの持ち方だ～」など、これまでは無かったやり取りが出てきました。
それを言われた子どもは、ハッとした表情で親指と人差し指を広げて持ち直しています。保育士が声を掛けなくても、自分達で気付いて声を掛け合う姿に成長を感じています。

ままごとコーナーでは、赤ちゃんの人形を使って、食事のシーンを再現して遊んでいます。「もぐもぐしてね～」「おいしいね」「スプーンの持ち方は？」などと、保育士の姿を真似して遊ぶ場面も！
食べることが楽しいと感じているからこそ、そんな遊びが始まったのかもしれません。食べる時間は、栄養だけではなく様々な発達に影響するのだとつくづく感じました。

Nano3

～みんなで食べると～

「今日の給食なにかな～？」といい匂いにお楽しみの給食。最近は、好きな友達と同じテーブルになる事も楽しみのひとつ。「給食の時、お隣ね」と約束していたり。そんな姿も“友達と一緒にいたい”と安心する友達同士の関わりに成長を感じます。テーブルに友だちが揃ったらテーブルごとに「いただきます」のご挨拶をして食べ始めます。これも自分の事だけでなく他者の事を想い、待つこと・待ってくれていることを知る機会になっています。お替りも全部なくなる日もあります。特にデザートは大人気！お替りは、数に限りがあるので、早く食べ終わった順番に。「今日のデザートのお替りは、〇人だよ！」の保育者の声掛けに、ダダっと列になりバーゲン会場のようです。そんなある日、バナナのおかわり７個。子ども達に「バナナいる人～？」と聞くと、21 人全員の手が上がり。「みんな食べたいよね。でも、７個。どうしよっか？」と聞いてみると「わける～！」「半分こ！」「ちっさくする！」と、優しい答えが沢山。とっても小さな一口分のバナナだけど、みんなで分けていい笑顔。心から『みんなで食べると幸せだね』と感じたことでしょう。牛乳のお替りは、「牛乳飲んで大きくなる！」とのお友だちの言葉にサッと、列ができます。食べる事が成長に繋がっていることも意識し始めています。お友だちと一緒に食事をする中で、色々なことを感じている子ども達です



～クレヨンのしろくん～

アート展でお伝えした姿のように、日々子ども達は、粘土遊びやお絵描きなどから色々な想像や発見をしています。ある日のお絵描きは、壁に模造紙を貼っておきました。早速、描き始めると「なんか、デコってなるね」と壁の素材の凹凸を指先から感じすぐに言葉に。青色のクレヨンで、横長の紙の右から左へと自らも移動しながら横線を描いていたＣくん「ほら、海！」と。更にその海を描く手は、下から上へ上へと続き。すると「海がお空まで行くと、みんなぬれちゃうね」と。保育者が「そうだね。どうしよっか？」と見ていると「白くんに消してもらおう！」と、白色クレヨンで重ね塗りを始めました。やがて、一本の白色クレヨンよりも、もっと沢山必要と感じたようで手には、三本！！握って重ね塗りしつつ「ほら！白くんすごいね！」と薄くなっていく青色に満足そう。そして、側にいたお友達にも「白くんって、なんでも消せるんだよ」と得意げにお話していました。子ども達の好きな絵本“クレヨンのくろくん”ならぬ“クレヨンのしろくん”を見つけたＣくん。いつもとは違うスタイルでのお絵描きは、姿勢や目線、筆圧の違いも刺激となったようです。

Nano4

これなぁに？

給食の時間が毎日楽しみな子ども達。散歩の行き帰りで園舎の横を通った時や、屋上であそんでいると……いい匂いが。
「この匂いはなんだろう？」「なんか甘い匂いだね」「お腹すいたな～」とますます給食が楽しみです。
給食の時間は先月に引き続き BGM を流してレストラン風で食べています。12 月は国の音楽だけではなくクリスマスソングを流しました。最近では色々な音楽に耳を傾けています。

毎日献立を発表しています。料理名はもちろん、材料の名前や季節の野菜の話にも興味を持つようになりました。とある日に“魚の照り焼き”が出ました。「これなんの魚？」「なんだろうね」「まぐろ？」「シャケ？」「さば？」たくさんの魚の名前が出てきました。「さわらっていう名前の魚だよ」と伝えると「サバら？？」「さばの仲間？？」と頭に?マークがついていました。食べてみると「やわらかいね」「なんかマグロみたい」「白い魚だね」と魚でも様々な食感があったり色が違ったりと目でも食を楽しんでいます。まだまだ肉や魚の種類は分かりませんが興味を持つ、それが第一歩ですね。

クリスマスランチ　～エスコートって？～

今年のクリスマスランチは3、4歳児で一緒に食べました。3歳児クラスの友達の手を取り、席まで誘導します。一緒にいるとみんなはちょっぴりお兄さんお姉さん。「こっちだよ」「大丈夫？」「ここに座るんだよ」と言葉は少ないものの、優しくエスコートする姿が見られました。

昨年は5歳児クラスのお兄さんお姉さんが4歳と3歳クラスをエスコートしていましたが、今年はなんと、4歳ナノ組のみんながエスコート役です！“エスコート”を細かくは説明していません。しかし、子ども達はどうすればいいのか、きっと記憶のどこかにあったのでしょう。不器用ながらも、エスコートしようとする姿がとても可愛らしく、とても頼もしかったです。「なんかレストランみたいだね」「ディズニーのご飯屋さんみたい」といつもとは違ったランチは特別な時間となり、クリスマスを感じながら楽しんでいました。

Nano5

大根を収穫しました

菜園で育てた大根は、力いっぱい引っ張ってもなかなか抜けないほどしっかりと地面に埋まっていました。地面の上に見えている葉っぱは同じなのに、抜いてみると大根の種類によって色や形、大きさも違っていました。大根を引抜くたびに笑いや歓声が広がり、楽しく収穫しました。収穫日にＳくんとＫくんが休んでいました。全部抜くのかと子ども達に聞いてみたところ、「２人に残しておきたい。」と返事がかえってきました。優しいですね！後日、ＳくんとＫくんの２人が大根を収穫した日に不思議な実を見つけました。丸くて小さくてどこかで見たような実です。「何の実だろう～。」としばらく考えていましたが、「ジャガイモ！」と喜んでいました。菜園には春に収穫する予定の大根が数本残っています。春になったら～ピカピカの一年生ですね！

食べてもいいのかな？

「大根の葉っぱは食べられますか？」Ｉさんの質問を聞いて、栄養士さんがおやつのおにぎりに大根葉を入れてくれました。炒めた大根葉にうっすらと味を付けてくれています。大根葉のおにぎりは美味しくて大人気でした。収穫した大根は薄く切って切り干し大根にもしました。

数日後、切り干し大根を観察すると興味津々で顔を近づけていました。どんな匂いなのか気になったようです。種まきから収穫や試食まで経験しました。おにぎり作りもなかなかの腕前です！

誰が食べたの？

ベランダで育てているチューリップの球根が何者かに食べられました。カラスじゃない？とザワザワ。「カカシをつくろう！」とＴさんが思いつきました。アトリエに材料探しに行きカカシを作ると、迫力のあるカカシが完成しました。ところがその日の夕方、

「カカシがこっちを見ている！」

「カカシと目が合った。」と再びザワザワ……。

春までチューリップを守れますように！

Lunch & Snack time

食育だより

あけましておめでとうございます。

年末年始のお休みが明け、最初の給食は子どもたちに人気のカレーライスです。寒さ厳しい時季ですが、規則正しい生活と栄養満点の食事を心がけ、元気いっぱいに新年のスタートをきりましょう。

アルテの畑

5 歳さんが 12 月に収穫した大根。大きく茂った葉はお握りに混ぜておやつに頂きました。立派に育った根は切干大根にして1月の給食に提供予定です。

クリスマスランチ

1 階ホールをレストランのようにして 5 歳ナノ組さんを招待しました。サーブすると照れくさそうに「ありがとうございます」とお礼を言ってくれました。パン食も嬉しかったようです。「おかわりください」とたくさんの子ども達が満腹になるまで食べていました。

今が旬！

～僕たち、春の七草兄弟です！～

「せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ」

春の七草兄弟です。みなさんよろしくお願いします。

僕たちを食べて、冬に不足しがちなビタミンC・カリウムなどを補給し、風邪などひかない丈夫な身体を作ってください。

[今月の行事食]

7日（金） 七草・新年こども会
お正月ちらし寿司・おせち
七草粥

11日（火） 鏡開き
揚げ餅

28日（金） お誕生日会
お赤飯・から揚げ
お誕生日ケーキ

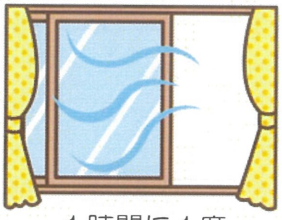
１がつのほけんだより

新しい１年がスタートしました。是非お子さんと健康的に園で過ごすためにどうしようか、話をしてみてください。「早寝早起きをする」「朝ごはんをしっかり食べる」「テレビを見る時間・ゲームをする時間を守る」など、決めてみましょう。お子さんと元気に安全に過ごせるように努めていきます。今年も保護者様のご協力の程よろしくお願いします。

寒い時期のけがや病気に注意！

こんなことに気を付けましょう

ポケットに手を入れたまま歩かない



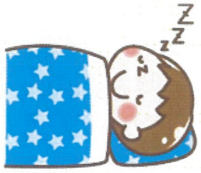
１時間に１度、換気をする

感染症にならないよう、人の多い場所は避ける

手洗い・うがいをこまめにする

咳エチケットを守る

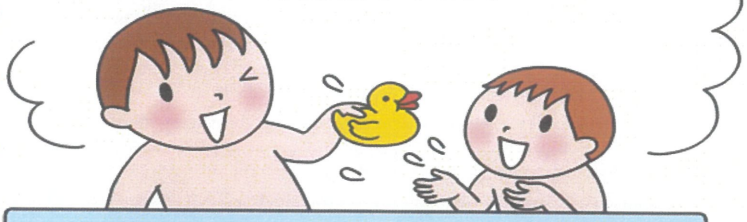
乾燥しないよう加湿をする



早寝早起きをする

肌の乾燥対策のポイント

湿度が 50%以下になると、肌の乾燥が始まります。
加湿器を使用するなど、湿度調節を行いましょう。
衣類は通気性の良い物を選びましょう。



入浴には刺激の弱い石鹸やボディソープを少量、よく泡立てて使いましょう。肌の乾燥が強い時は手で優しく洗う程度で十分です。入浴後はしっかり保湿しましょう。医師や薬剤師に相談し、個々に合った保湿剤を見つけておくのもいいでしょう。
外遊び大好きな子ども達です。保湿をしてからの登園をお願いします。

１月の予定

発育測定
１月１２日(水)

０歳児健診
１月　６日(木)
１月１３日(木)

園医に健康について聞いてみたいことなどありましたらお声かけください。

コンピューターなんて役に立たない。だって、答えを出すだけなんだから。

パブロ・ピカソ（ 画家 1881～1973 ）

Atelier

「0から1、そして無限のスパイラルへ」

それは、園外活動で高根公園に出かけたある日のことです。
大きな木の下で、4歳ナノ組のＨくんとＲくんがしゃがみ込んでいます。二人はその木から剥がれ落ちた木の皮を拾い集めると、静かに話しをしながら地面にそれを並べています。何でしょう？
どうやら何かの形のようです。分かりました「恐竜」です。
二人がしているのは**「見立て遊び」**と言われるものですが、この遊びにはとても重要な意味があります。
それは、二人の中で**「表象の理解」**が起こっているのです。**「表象」**とは、言葉では表すことのできないことを他の何かで置き換えて表現することで、いわゆる**「イメージ」**することです。レゴブロックやLaQも同様に自分のイメージを形にするものです。しかしそれらのブロックは、既にそれを使って何かを作る機能が埋め込まれたもの。例えて言えば、ブロックは「1」をたくさん組合せることで「10」や「10000」「896572412」など大きかったり複雑であったりするものを作り出すことができます。

それに対して二人がしていた**「見立て遊び（表象の理解）」**は**「０から１を生み出す」**行為であり、**「無から有を生み出す創造的な遊び」**です。この様な見方をたくさん経験することにより、成長と共に物事を抽象的に捉えたり概念的な思考で理解したりする力が培われていきます。

上記のエピソードは「アート展」でご紹介させて頂いたものですが、あれから早ひと月が過ぎようとしています。しかしとっくに「アート展」が終わろうとも、ブラックホールチームは毎日私にこう尋ねるのです。

「ブラックホールやりたい～ 今日、やれる？」

子ども達にとっては、どうやら「アート展」などただの通過点に過ぎないようです。
アトリエに横たわるブラックホールは、今も子ども達の手により進化し続けています。そして子ども達の中では、そこで自分が生み出す表現がさらに自らの想像力や探究心を刺激するという**「創造性のスパイラル」**が起こっているのです。（ 一然 ）

たねのかい